

令和6年度 教育計画						学校番号 230	
伊方町立瀬戸中学校							
校長名	井上 武彦	学級数	4 (1)	生徒数	22	教職員数	10



学校の教育目標

「自律・共生」

生徒が自己決定し、共に尊重し合う

せ と 中学校

目指す学校像

地域への誇りと愛着を持ち、未来を切り拓く力を育む学校
 瀬戸地域になくなくてはならない存在意義のある学校
 生徒・教職員ともに心理的安全性の高い学校
 教職員が働きやすく、働きがいを実感できる学校
 保護者・地域から信頼される学校

ミッション



重点目標	<p>1 自律性を育む学校づくり</p> <p>(1) 知識・技能等の習得と非認知能力の伸長の両面を意識しながら、一人一人の学力をバランスよく伸ばす指導に努める。</p> <p>(2) 自己調整しながら粘り強く学習に取り組む生徒の支援に努める。</p> <p>(3) I C Tの効果的な活用や少人数指導を重視した授業改善に努める。</p> <p>(4) 学級での対話や合意形成を通して、自己決定する機会の充実を図る。</p> <p>(5) 生徒会による創造的な取組など、生徒の自治的活動を支援する。</p> <p>(6) デジタル・シティズンシップ教育を通して、自律性の高まりを目指す。</p> <p>2 共生（相互尊重）を目指した学校づくり</p> <p>(1) 発達支持的生徒指導の重視や、望ましい隠れたカリキュラムの実現を通して、学校全体の人権感覚を高め、いじめが起こりにくい風土を築く。</p> <p>(2) 人権・同和教育、道徳教育、特別支援教育の充実を通して、自他を尊重する心を育むとともに、一人一人の自己存在感の高まりを目指す。</p> <p>(3) 防災教育を推進し、自他の生命を守るための実践力の向上を図る。</p> <p>3 地域への誇りと愛着を育む学校づくり</p> <p>(1) 総合的な学習の時間の充実を図り、地域と触れ合い、地域に貢献する。</p> <p>(2) 地域と連携したライフキャリア教育を通して、郷土愛を育む。</p> <p>(3) 地域学校協働本部やP T A組織との連携・協働を充実させる。</p>
管理運営	<p>1 人的管理</p> <p>(1) 相互信頼とワーク・ライフ・バランスを基盤とした心理的安全性の高い職場環境づくりに努め、働きやすく、働きがいのある学校を目指す。</p> <p>(2) 地域学校協働活動や、公民館と共同開催の行事の充実を図り、地域と一体となった業務改善を推進する</p> <p>(3) 教職公務員としての信用の保持に努め、不祥事防止に向けて、日々の状況把握と様々な機会を通じた注意喚起に尽力する。</p> <p>2 物的管理</p> <p>(1) 施設・設備、備品及び薬品の安全かつ効果的な活用に努める。</p> <p>(2) 安全点検の日常化と潜在的危険個所の早急な除去に努める。</p> <p>3 事務管理</p> <p>(1) 諸会計の厳正な処理と個人情報の適切な管理に努める。</p> <p>(2) 学校事務室との連携を密にし、事務処理の効率化、適正化に努める。</p>
本校教育の特色	<p>1 総合的な学習の時間の「I M Oプロジェクト」（特産品のさつま芋を使った地域活性化の活動）や、地域の公民館と共同開催の文化祭を通して、地域への貢献、生徒の郷土愛の育成に努めている。</p> <p>2 伊方町指定の情報教育研究校として、I C Tの積極的な活用や近隣校との交流授業を継続し、成果を町内へ情報発信している。</p> <p>3 日本で最も細長い佐田岬半島及びメロディーラインの中間に位置し、北は瀬戸内海、南は宇和海に接し、近隣に佐田岬半島ミュージアムが開館するなど、自然・文化面ともに資源豊富な地域に位置する学校である。</p>